

イネカメムシ警戒中

まだ必要!

本田防除は

2回!



写真提供：埼玉県病害虫防除所

越冬個体が一部地域で
確認されています!
そのため、**次作でも**
適期防除が必要です!



防除1回目：出穂始期（穂の10%が出穂）

防除2回目：1回目の防除から10日後頃

【薬剤散布時期の目安】

←→ 防除1回目

←.....→ 防除2回目

品種	4月		5月		6月			7月			8月			9月		
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
コシヒカリ	田植								←→			←.....→				
			田植						←→			←.....→				
彩のきずな			田植						←→			←.....→				
					田植					←→			←.....→			
彩のかがやき			田植								←→			←.....→		
					田植						←→			←.....→		

【イネカメムシの防除薬剤例】

商品名	IRAC	散布方法	希釈倍数・使用量	使用時期・回数
キラップフロアブル	2B	散布	1000~2000倍	収穫14日前まで 2回以内
		無人航空機による散布	8~16倍	
スタークル液剤10	4A	散布	1000倍	収穫7日前まで 3回以内
		無人航空機による散布	8倍	
エクシードフロアブル	4C	散布	2000倍	収穫7日前まで 3回以内
		無人航空機による散布	16倍	
トレボン乳剤	3A	散布	2000倍	収穫14日前まで 3回以内
キラップ粒剤	2B	湛水散布	3kg/10a	収穫14日前まで 2回以内
スタークル豆つぶ	4A	散布	250g/10a	収穫7日前まで 3回以内

- ・ 農薬はラベルを必ず確認し、表示された使用基準を守って使用してください。
- ・ 令和8年1月1日現在の登録内容です。
- ・ 農薬の飛散防止に努め、農薬の使用記録簿を付けましょう。

【薬剤防除効果：令和7年度実証試験結果】

令和7年度に27か所で薬剤防除の実証試験を行ったところ、平均収量510kg/10a程度、着色粒割合0.05%と広域かつ適期の防除を行うことにより、高品質安定収量を得られることが分かりました。

令和8年度も引き続き、地域全体での広域かつ適期の防除を継続し、収量と品質を確保しましょう。